

(6) 鉄筋や型枠は乱れていないか

コンクリートの打込む前には、配筋状況を見渡し、鉄筋の乱れ、踏み荒し、波打ち、たるみ等がなく、整然と配筋されているかを確認する必要があります。配筋組立後は、鉄筋の乱れを少なくするために、歩み板等を敷き渡し、直接鉄筋の上を歩かないようにする配慮が必要です。特に、かぶりの確保は重要です。また、型枠のはらみやゆるみ、モルタルの漏れがないか注意する必要があります。

以下のような場合には次のような不具合が発生します。

- 型枠のはらみ ⇒ 型枠に沿った表面にひび割れ
- 型枠からの漏水 ⇒ モルタル分の流出
- 配筋の乱れ、かぶりの不足 ⇒ 鉄筋に沿ったひび割れ



歩み板等を敷き渡し、直接鉄筋の上を歩かない



型枠からのモルタル分の流失